

# 教員紹介 PART 2 ～基本情報編～

かわの ひであき

## 河野 英昭 准教授

東京大学で博士の学位を得た後、日本学術振興会特別研究員・海外特別研究員として東京大学、カリフォルニア大学で研究し、続いて名古屋大学でCOE研究員として研究した後、1998年1月1日から九州大学地球惑星科学科に勤務し、現在、九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門で准教授を務める。

学部や大学院の講義を多く受け持ち、教育熱心な一面もある。



# 教員紹介 PART 2 ～インタビュー編～



河野英昭 准教授

## 現在の研究内容は？

地球近くの宇宙空間（磁気圏と言います）におけるプラズマの密度を、プラズマ物理学の知識を応用して、地上磁場観測データや地上レーダー観測データから求めています。地上観測点は人工衛星より圧倒的に数が多く、磁気圏のより広い範囲をモニターできるので、そのプラズマ密度分布の時間空間変化が何によってどのようにコントロールされているかを詳しく調べられます。私はそれを調べる研究を行っています。

## 専門分野の魅力はなんですか？

プラズマは陽子と電子がバラバラになって混ざった流体のようなもので、その物理的性質が面白いです。磁気圏はプラズマに満たされているので、それを人工衛星で直接観測したり地上からモニターしたりする事が出来て、それを研究対象に出来るのが魅力です。

## 趣味はなんですか？

近年は琉球のポップミュージックを良く聴いています。

## 最後に一言お願いします！

「自分が自分のために自分の人生を生きなければ、いったい誰が自分のために生きてくれるだろうか」ということわざがあります。まず自分自身で考えて、それを他の人に積極的に伝えてフィードバックを受けてそれを消化して新たな自分自身の考えとする、というプロセスを続けていく学生さんであってほしいと思います。